

## 2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	住宅地計画小委員会		主 査 名：阿部 順子 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：小野田 泰明 主 査 名：清水 郁郎
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>住まいまちづくりを連続的・包括的・相互的に捉え、空間・社会・文化・制度等の多面的視点で既存住宅地の持続的進化に向けて、実現可能な甦生手法検討を目的とする。</p> <p>初年度：オンラインでの住宅・住宅地事例の研究会 2 年度：2021 年度大会研究懇談会「魅力ある住宅地と伴走する人々ーコロナ禍で見えた集住の価値」の実施</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：阿部 順子 (相山女学園大学) 幹事：西野 雄一郎 (大阪市立大学)・藤井 さやか (筑波大学) 委員：伊丹 康二 (武庫川女子大学)、今田 太一郎 (岐阜高専)、梅本 舞子 (筑波技術大学)、大月 敏雄 (東京大学)、郷田 修身 (芝浦工業大学)、田上 健一 (九州大学)、寺川 政司 (近畿大学)、徳尾野 徹 (大阪市立大学)、野澤 康 (工学院大学)、橋田 竜平 (九州大学)、花里 俊廣 (筑波大学)、森永 良丙 (千葉大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2021 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s20/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s20/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	研究懇談会「魅力ある住宅地と伴走する人々ーコロナ禍で見えた集住の価値」 参加者数 98 名 資料名：「魅力ある住宅地と伴走する人々ーコロナ禍で見えた集住の価値」
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 2021 年大会研究懇談会を実施し、集住の新たな価値についての論点を提示できた。</p> <p>2. コロナ禍により視察や見学会を実施できなかったが、オンラインの小委員会を開催し、コロナ禍での住宅地の在り方について議論を行った。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. コロナ禍の影響を受けた活動方法：委員のフィールドを持ち回りで視察し、現地で委員とプロジェクトのキーマンと議論するという委員会のメインの活動方法が今年度も実施できなかった。オンラインと現地のハイブリッドによって、小委員会活動をより一層活発にしていきたい。</p> <p>2. 不十分な情報発信：小委員会ウェブサイトの更新ができておらず、視察・見学会が実施できなかったことにより、出版企画が遅れている。</p>